



# 善正寺だより

〒:512-0902

三重県四日市市

小杉町1014

浄土真宗

本願寺派

善正寺

☎:059-331-1670

fax:059-332-0733

掲示板法話

## 元日や今日のいのちに 遇う不思議

(木村無相)



明けましておめでとございます。ウクライナ戦争は3年目となり、中東ではイスラエルとハマスの戦闘が長期化する様相、毎日罪もなき子供や市民の犠牲が絶えません。

また、長寿社会、人生百年時代と言えども、百寿の人は稀有であり、我々の命の灯はいつ消えても不思議ではありません。生と死は一枚の紙の裏と表のようなもので、風が吹けば表が裏返り飛ばされることも稀ではありません。だから、生かされる命の質が問われているのです。

お正月の「正」という字は、「一」に「止まる」と書く。だから、年中「忙しい、忙しい」と走り回って、「生きているのが当たり前」と開き直っている我々が立ち止まって、「一」から我が命を見直す日、それがお正月ではないでしょうか？

標語の言葉「元日や 今日のいのちに 遇う不思議」は、道を求めて苦闘し、本願念仏の救いに遇った「いのちの不思議」への驚きと感謝ですね。

何が不思議なのでしょう？

親鸞聖人は、御著書の中で「不思議」という言葉を随分沢山残しておられま

す。「高僧和讃・曇鸞讀」の一首に いくつかの不思議をとくなく

仏法不思議にしくぞなき

仏法不思議といふことは

弥陀の弘誓になづけたり

と詠まれました。

五つの不思議とは、

① 衆生多少不思議；この世の生き物の多いこと(3千万種?)

② 業力不思議；各人の業のちからにより受ける果報が千差万別である。

③ 竜力不思議；竜神が起す風雨、自然現象の不思議

④ 禅定力不思議；禅定、精神統一により神通をあらわす不思議

⑤ 仏法力不思議；仏法の力により、衆生にさとりを開かせる不思議

御和讃は、「我が命の不思議から始めて、いろいろ不思議なことが沢山あるが、欲と怒りと愚かさからめとられて、いる我ら凡夫が弥陀の救いに遇う、これほどの不思議はないのだ」という

親鸞さまの仰せですね。木村さんは聖人のみ教えに遇うことのできた喜びを

「弥陀の名号となえつつ 名名のまこととを頂けば 業煩惱のこの我に 涅槃

の光さし入りて “不断煩惱得涅槃”

光に生きる身とはなる ああこの不思議

「この不思議」と歌っておられます。

この一年、日々に新たな命を「お

かげさま」ありがとうと生き抜きま

しょう。

### ☆行事ご案内☆

**除夜の鐘 12月31日夜11時45分より**

誰でも撞けます。家族やお友達と撞きにきて下さい

**元旦会 1月1日午前9時より** 正信偈、住職法話

新年のスタートは家族揃って阿弥陀様にご挨拶!

**お朝事 1月13日・14日・15日・16日の 毎朝7時より**

連続4日間のプチ修行、正信偈、住職法話、茶話会

**新法縁廟** 年末に納骨堂前の境内地に完成。お墓も

シェアハウス時代、各骨壺を棚に並べる方式。後継者がいない方、遠方で墓守が困難な方、一度寺に相談下さい

『初参式』の赤ちゃん大募集、三全仏教婦人会主催、

4月20日(土)午後1時、会費千円、記念写真、数珠付

夕方5時の鐘撞き、年中無休、ご褒美ガム有、誰でもOK

一縁会テレホン法話059・354・1454。3分法話

三重組5か寺の住職らが担当、新刊法話集近々発行予定

善正寺ホームページQRコードから閲覧可、毎日更新の

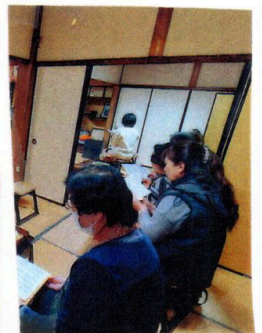
ブログ『住職と坊守のつれづれ日記』大好評15年5ヶ月

で42万4千訪問。過去の寺報閲覧可、お悩み相談可

法事場所でお困りの方寺にご相談下さい。本堂使用可

新納骨堂後継者の無い方、お墓でお困りの方ご相談を

### ☆ 写真アラカルト ☆



お内仏報恩講 大勢のお参り感謝



善正寺  
ホームページ



住職と坊守の  
つれづれ日記

### ぼうもり 坊守スケッチ

## 無縁社会のお墓



近年少子化、核家族化、単身化が進み、先祖代々のお墓があっても、誰が後々面倒を見るのか悩む方が多くなってきました。そんなお声を受けて、善正寺では数年前から経堂を改装して新納骨堂として整備しました。

昔から小杉町には歩いて10分の所に共同墓地があり、地元の方はそこへ納骨されますが、新しくご縁を頂いた方は、葬儀の後お骨の安置場所に困られて、新納骨堂でお預かりしています。

また別の公営墓地にお墓が建立されたにも拘らず、単身の子孫や、遠方に居住して墓守が困難な為に、墓じまいをして新納骨堂を利用された方もいます。従来のイ工意識が薄くなって「お墓のお守りは直系の子孫の勤め」という価値観も崩壊しつつあります。

三世代同居も減り、子々孫々でお墓のお守りをする時代は先細りになりました。

ある高齢者施設では、「終の棲家を一緒に過ごした仲間と入る共同墓」を作る動きもあるそうです。

お墓もシェアハウスの時代になりつつあります。子や孫が都会へ出て行って墓守を期待できないと嘆く人も多く「合葬墓」は急速に増えています。

この度善正寺では境内の一角に「新法縁廟」を建設いたしました。お墓の継承にお困りの方に少しでも寄り添い

たいという願いから建立しました。

納骨堂でお預かりしている方々同様に、本堂での法事もご利用頂けます。

ロッカー型の納骨堂との違いは、各家庭別に区切って収納するのではなく、法縁廟の石碑の下の空間棚に、夫々の骨壺を並べる仕組みです。

希望者には外の銘板には法名を刻むこともできます。ある熱心な方の強い要望により実現に踏み切りました。利用料金は納骨堂より格安です。

家族が縮小していく時代に、お寺が少しでもご遺族寄り添い、故人の生き証をしつかりお守りして、仏様の教えを子々孫々に伝えるように精進したいと思えます。遺骨の保管場所でお困りの方、遠方の墓参りに行けない方等、お墓でお悩みの方はご相談下さい。

### ホットニュース

※年末に境内に「新法縁廟」が完成しました。個別納骨ではなく骨壺を棚に納める方式。詳細は寺へお尋ね下さい。

※4月20日(土)午後1時三全仏壇主催「初参式」を受ける赤ちゃん・幼児を大募集。二度目でも大歓迎。千円

※1月13日、16日7時4日連続「お朝事」本堂で正信偈・法話、茶話会

### カンパありがとう

濱田しげ子様、松岡康様、富田和代様、澤田美智江様、柴田美津代様他、感謝

### 若坊守の子育て日記No.108

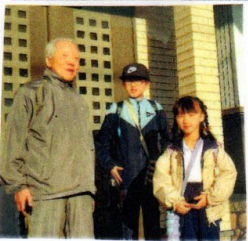
新年おめでとうございます。毎度年始に思う事は、この一年も平穏に過ぎて欲しいということ。ニュースではウクライナやパレスチナの戦争が流れ、我が家の子供達と同年齢の子が瓦礫の埃にまみれて血を流しています。辛い映像です。

ところで、NHK大河ドラマ「どうする家康」では、大阪の陣を終わらせる為に、家康が「戦はこの世で最も愚かで醜い人の所業」と言っています。現代にも訴えかけるこのセリフは、250年以上戦乱の無い江戸時代の礎を築いた家康の覚悟の現れです。

今年度、私は子供会会長を務めていますが、小さな変更点で副会長と意思疎通できていない点がありました。

すぐに話をして誤解は解消できましたが、これがメールや手紙であれば、ましてや文化や言葉の違う外国人との交渉であれば、すんなりとはいきません。このように戦争の火種が生まれののかとふと思いました。

戦争の原因をきちんと知るところから平和への第一歩が始まります。子ども達にも平和の大切さを伝えていきたいと思っています。



### 俳壇・法句

ドア開く寒風車内包みけり 釋妙水

十二月の喪中葉書に思い馳せ 釋榮邦

山野辺の銀杏明かりに暮れ残る

秋澄むやキラリ鳥の目の光 釋住安

曼殊沙華浄土へ続く赤い道

枯れすすき夕日見送り風の中 釋普教

大銀杏散りてふかふか寝転びし

十二月八日の朝のパンを焼く

「生」の灯や一人一灯報恩講

ほどけゆく浸す五体や柚百個

冬ごもり土鍋コトコト針仕事 TS

思い切り破られた後で障子張る

ゴマメ炒る煙流れて路地の暮

ぎんなんの法話に込めし慈父の慈悲

靴ひもを結び直して冬の風 釋瑞華

冬雲とコンビナートの煙の白 釋秀龍

焼き芋を包み直して匂いかぐ 釋清風

湯煙に包まれ和む柚子湯かな

お日さまの恵み甘い熱し柿

時雨きて頬かむりする家路かな

☆新法縁廟は、ますます少子化、流動化の進む将来を見据えて、有縁の方々のご遺骨を合同墓の型式で安置され、ご遺族が少しでも仏縁に触れて頂くよう新設させて頂きました。従来の納骨堂共々皆様のご希望に沿いたいと思えます。遠慮なくご相談下さい。

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」361号をお届けします。◇本年もご愛読下さい。合掌。

明けましておめでとうございませす。本年もよろしくお願い申し  
上げます。私は今年3月10日で結婚50周年を迎えます。  
結誓式当日新郎がお坊さん恰好だったのでビッグリノお寺  
のことを何も知らずに嫁いだ私を、先代住職は煽って誉  
めて育てて下さいました。「クマタのヒット」とか「アンタのやりたいよ  
うにすればよい」と温かく見守って下さいました。無鉄砲で世間  
知らずな私は嫁いだ早々杉の子合唱団を結成して大  
法要に参列し、毎年春には大学生を招きカレ、パーティと人形  
劇の集いを10年間継続。また中学生に教える塾を  
開き35年間勤めました。元教え子達が「あの頃は楽し  
かったね」と訪ねてくれるのが私の宝物です。その後三重組  
コースの結成にも関わり、お寺の垣根を超えて沢山のメンバ  
ーと仏教讃歌を披露して感動を共有しました。仏教を通信  
教育で学び得度や教師資格を頂戴して、兼業する住職の  
代理の勤めました。あちこちで聴聞させて頂くおかげで法友が全  
国版になりました。寺報やブログによって沢山の読者から温かい  
励ましを頂きそれが私の財産です。早寝早起の習慣は、  
嫁いだ当初から朝6時の梵鐘を撞いたおかげ。何もかも  
無我夢中の50年でした。12年前に若坊守を迎え孫の  
成長を樂しみにする現在です。私も7代後半に差し掛か  
り急に老いの衰えを感じています。30年間休まず発行  
する寺報15年間毎日更新するブログは私の老化防止  
法です。今年の日々精一杯勤めようすので皆様のご  
支援よりしくお願い申し上げます。合掌

令和六年一月

善正寺坊守拜